

次号予告(第62巻・第3号)

■特集 最新の心房細動治療戦略—長期持続性心房細動に対するアブレーション—

序文……………筑波大学医学医療系・循環器内科 青 沼 和 隆

長期持続性心房細動に対するアブレーションを踏まえた

新たなリズムコントロールの提案

……………東京医科歯科大学・不整脈センター 平 尾 見 三

長期持続性慢性心房細動に対するアブレーション

—どこまで長期の心房細動にアブレーションするのか—

……………土浦協同病院・循環器内科不整脈部門 蜂 谷 仁

アブレーションの新たな考え方—過剰アブレーションの問題—

……………横須賀共済病院・循環器センター内科 桑 原 大 志

心房細動における炎症の役割—基礎的立場から炎症を捉える—

……………大分大学医学部・総合内科学第一講座 高 橋 尚 彦

新しいコンセプトによるアブレーション

—Focal Impulse and Rotor Modulation(FIRM)法—

……………獨協医科大学越谷病院・循環器内科 中 原 志 朗

新時代アブレーション—バルーンアブレーション—

……………東京医科大学・循環器内科 矢 崎 義 直

新時代アブレーション—透視レスのアブレーション—

……………University of Leipzig 山 崎 浩

左心耳閉鎖術による塞栓症予防……………群馬大学・循環器内科 松 尾 弥 枝

呼吸機能障害を来す病態の画像

心不全, 肺水腫……………弘前大学大学院医学研究科・放射線科学 小 野 修 一

総 説 気管支喘息の natural history……………国立病院機構東京病院 大 田 健

川崎病の臨床像と治療戦略……………北里大学医学部小児科 扇原 義人・他

Bedside Teaching

ネーザルハイフロー……………公立陶生病院・呼吸器・アレルギー内科 横 山 俊 樹

末期心疾患に対する緩和医療……………静岡県立総合病院 野々木 宏・他

Current Opinion

耐性菌……………国立国際医療研究センター・国際感染症センター 大 曲 貴 夫

PCI か CABG か内科的療法か—内科の立場から

……………天理よろづ相談所病院・循環器内科 中 川 義 久